

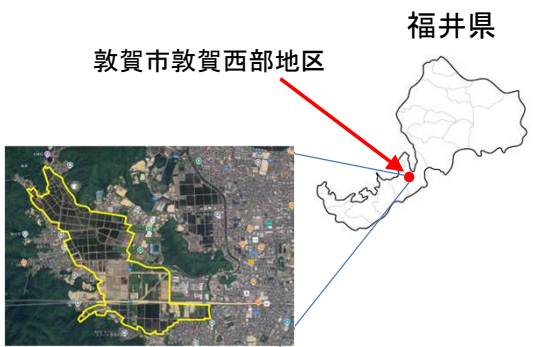
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲作付が中心の中山間農業地域。
- 圃場の区画が狭小で地盤は軟弱であり、大型農機が使えないため生産性が低く、後継者不足による離農が相次いでいた。
- 圃場整備事業に合わせて設立した農業法人の経営強化に対する支援が必要。

【支援内容・背景】

- 大区画化した農地において効率的に営農するため、大型農機やスマート農機の導入、支援が必要。
- 助成対象者は、大区画化された約150haの圃場の担い手として設立された法人であり、工事の進捗に伴い経営面積が年々拡大している。また、輸出用米の作付等にも取り組んでおり、大規模経営体のモデルとして育成・支援を行う。



助成対象者「(株)ミライスつるが気比」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成26年 圃場整備の検討開始
- 平成28年 法人設立
- 平成29年1月 農地中間管理機構を通して地域内の農地を借受
- 平成29年 旧圃場で作付け開始
- 平成30年 圃場整備工事開始
- 令和2年 経営面積が50 haを突破
- 令和6年 経営面積が77 haに拡大

《事業活用の背景》

整備後の大規模圃場で安定した経営を行うため、耕起、均平整地、田植、防除、施肥といった一連の農作業を効率化できる、大型農機やスマート農機の導入が必要。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高	37,000千円
○経営面積	53.1 ha
○輸出の取組	0 t

➡

《事業による整備内容》

- トラクター 1台(98PS)
事業費 10,780千円
(国費 4,900千円)
- 田植機 1台(8条植)
事業費 5,060千円
(国費 2,300千円)
- ドローン 1台(7.5m散布)
事業費 3,850千円
(国費 1,750千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○売上高	115,000千円 (311%)
○経営面積	77.0 ha (145%)
○輸出の取組	27.8 t (皆増)



事業の
効果

《対象者》 スマート農機の導入を始めとした農作業の効率化により、経営面積の拡大と売上の増加を実現させた。また、輸出用米の取組により、安定した収益源の確保に繋げることができた。

《地 区》 複数集落を跨いで設立した大規模経営体による効率的な営農モデルを確立した。